

# The 2 Chome Times 平成30年10月号

NO1のプレミアムストリートをめざして




NO245.

2018・10月・25

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス10月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

 フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>

 2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

## ★今月の勉強会 神戸と北陸は新幹線でどう変わったか？

今月の2日に定例の勉強会が開かれ、北國新聞社、論説委員の小倉正人氏を講師としてお迎えし、お話を伺いました。テーマは北陸新幹線が出来てから関西と金沢などの北陸地方との関係がどう変わったかということでした。北陸新幹線以前は東京から金沢までは相当な時間が掛かっていたものが開通後は2時間半で行き来が可能になり、東京から金沢に来られる人が圧倒的に増加したのは当然の結果ながら、その逆の北陸地方の方々が首都圏に行かれる機会が



これまた急上昇しており、結果として、関西への関心が薄れてしまったという事です。有名な観光地である軽井沢も金沢からたったの1時間で行けます。しかしながら北陸新幹線の最終終着駅



が将来的には大阪であり、それはつまり信州地方の方々が北陸新幹線を使って関西へ来られる流れも大いに増えるという事にも繋がります。嬉しい気にもなりますが、大きな問題は大阪までの全路線が開通するのが、なんと30年後だという事です。

そもそも北陸新幹線の構想から金沢まで開通するのに約40年間かかっており、その金沢から福井を経て敦賀まで開通するのが今から5年後です。そして敦賀から大阪までたったの140kmなのですが、これに今から30年かかるというものです。ちょっと気が遠くなりますよね。さらなる問題は5年後に敦賀まで延伸した際、東京や信州から関西に来られる方々は新幹線を敦賀で降りて、在来線に乗り換えないと大阪には来ることが出来ないという事実です。この「乗り換え」というのは心理的に大きなブレーキになってしまい、この状態が何年間も続くという訳です。これは例えば金沢の方々が関西に出るためには今までサンダーバードに乗車して2時間半で来られていたものが、一部在来線の廃止のため、金沢から敦賀までは新幹線に乗車し、敦賀からは在来線に乗り換えて大阪までと「遠回り」になってしまいます。これはかなり関西への来訪意識を低下させてしまいます。結果として、関西への逆風が長期に亘って吹くことになり、私達は自分達の街の魅力を逆風に負けない様に全力を傾けなくてはいけないというのが結論でした。厳しいお話でしたが、愚痴を言っても何も変わりません。皆さん全員の強い気持ちと心意気で頑張ってください！

## ★故翁長沖縄県知事県民葬

10月9日に、KOBE 三宮・人街創り協議会久利会長は、那覇市奥武山公園の沖縄県立武道館でとりおこなわれた故翁長雄志前沖縄県知事の県民葬に参列しました。一般の県民の方々の参列があまりにも多く、私達は場外のパブリックビューイング前で式を見守りました。翁長前知事は、「KOBE 夢・未来号」プロジェクトを那覇市長在任中からも応援していただき、「KOBE 夢・未来号」に参加して沖縄を訪れる神戸の子どもたちを、温かく迎えていただきました。3年前に久利会長が表敬訪問した際には、多忙な中予定時間を

大幅に延長して久利会長と親しく懇談されたことが思い出されます。



式は、玉城デニー新知事の式辞の後、安倍内閣総理大臣の代理である菅官房長官や昨年4月にも神戸三宮に来られた城間那覇市長らが追悼の辞を述べられました。また献花の際には、富川副知事や城間市長が久利会長にご挨拶されました。数千人の県民の皆さんが思いを持って式に参列されているのがよくわかりました。また琉球交響楽団が、一般献花の際も追悼曲を絶やさず演奏し続けていたのも印象的でした。あらためて「KOBE 夢・未来号」プロジェクトを応援し続けて頂いた翁長前知事のご冥福をお祈りいたします。



在りし日の翁長知事

### ★岸田劉生の軌跡 成羽美術館

今回は岡山県の高梁市にある町立の成羽美術館に行ってみました。まず感銘を受けたのはその外見です。1994年に安藤忠雄氏の設計で建設されその素晴らしさにまずは心動かされました。今回のメインの展示は日動美術財団協力の「岸田劉生の軌跡展」です。1891年に生まれ38年という短い生涯にもかかわらず数多くの作品を残し、特に娘を描いた「麗子像」を一度は見たことがあるのではないのでしょうか。



油絵として描かれたそれは

印象的で岸田劉生といえば油絵のイメージがありますが、今回は水彩画や掛け軸も多数出展され、その多彩な才能に驚かされました。近くに弁柄で栄えた吹屋地区がありそのノスタルジックな街並みを感じたり、銅山として開発された名残としての笹畝坑道を見学出来たりして、ちょっとした日帰り旅としては秀逸でした。神戸から車で3時間。秋の日帰り旅にいかがでしょうか。



高梁市成羽美術館：「岸田劉生の軌跡展」10月6日～2019年1月14日

開館時間 9：30～17：00（入館は16：30まで）

休館日 毎週月曜日（10/8.12/24.1/14は開館 年末年始12/28～1/4）

入館料 一般 シニア1000円 高・大学生800円 小・中学生500円

ホームページ <https://nariwa-or.jp/>

### ★編集後記

北陸新幹線が全線開通するのが今から30年後、私達の街、神戸で今進められている三宮「えきまち空間」基本計画が実現するとされているのが、これまた30年後です。どこか気が遠くなる話ですよね。今から数年後には三宮駅前ビルは完成しますし、「三宮クロススクエア」の第一段階の整備も2025年にはスタートします。しかしながらそれだけでは不十分です。その30年間の間はある意味「我慢」の期間なのかもしれませんが、そのまま待つ訳にはいきません。神戸に人々を引き付ける魅力を皆さんで手探りしていく必要があります。ただ、今すぐ実行可能なのはやはり2年後の東京オリンピックと同じく「おもてなし」です。来年はラグビーワールドカップの試合が神戸でも開かれますし、神戸に来られる多くの人々に「神戸は素敵な処だね、良い思い出が出来た」と思ってもらえるように頑張らしましょう！